

プラズマ・核融合学会誌

第93巻第5号

2017年5月

研究・技術ノート	LHD 閉構造ダイバータ用真空容器内蔵型クライオ吸着ポンプの開発 村瀬 尊則, 本島 巖, 田中宏彦, 森崎友宏	213
解 説	イットリウム系薄膜高温超伝導線材開発の現状と展望 和泉輝郎, 柳 長門	222
小 集	大気圧プラズマ-液相反応プロセスにおける診断技術の進展 1. はじめに 金子 俊郎	230
	2. レーザートムソン散乱による大気圧プラズマの電子密度・電子温度計測 富田健太郎, 内野喜一郎	232
	3. 質量分析法による大気圧プラズマ中のイオン計測 長門 研吉	236
	4. 液体が関与するプラズマ研究への KI-デンプン水溶液の応用 川崎 敏之	240
	5. 電子スピン共鳴法を活用したプラズマバイオ反応プロセスの診断 石川 健治, 近藤 隆, 竹田 圭吾, 呉 準席, 橋爪 博司, 田中宏昌, 近藤 博基, 太田 貴之, 伊藤 昌文, 関根 誠, 堀 勝	246
	6. おわりに 太田 貴之	253
講 座	核融合炉からの熱の取り出し 3. 先進的な熱機関：超臨界二酸化炭素タービン 石山新太郎, 相良 明男	256
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	261
インフォメーション ITER だより ⁽⁶³⁾ 炉設計特別チームだより ⁽⁸⁾	263
Plasma & Fusion Calendar	267
本 会 記 事 総会提出資料の学会ホームページ掲載・閲覧について 【こちら編集委員会です】発表！2016 年上半期の学会誌 (1~6 月号) でもっとも多くダウンロードされた記事はこちら！	268
編 集 後 記		

表紙の絵

ヘリカル核融合炉 FFHR-d 1 と液体金属リミタ兼ダイバータシステム REVOLVER-D の概念図。チェーン・テープ等の内挿抵抗物で安定化された液体スズの自由表面鉛直流を複数並べたもの (図の F-G 間) をターゲットとして用いる構想である。絶縁配管を用いることで、液体スズの循環に必要なポンプ動力は核融合出力 3 GW の場合で 10 MW 以下に抑えられると見積もられている。(Takuya GOTO *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.12, 1405016 (2017) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 3F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。